

診療連携会報



岡村だより

8月号

令和5年8月発行

Contents

働き方改革に伴う 診療体制への 影響について

院長 榎本 栄

職員の紹介

看護副部長兼外来科長 野田 圭子

リハビリテーション科 科長 鈴木 さゆり

心疾患リレーコラム② 【心血管スクリーニング の重要性】

循環器内科主任部長 保坂 文駿

働き方改革に伴う 診療体制への 影響について



病院長 榎本 栄

日頃より当院での循環器科診療に多大な援助を頂き、感謝しております。

梅雨が明ける前から日本各地で連日30度をこえる猛暑が続き、熱中症はもちろん、脱水に伴う急性心筋梗塞の発症も増えております。皆様体調の維持に注意して頂きたいと思っております。

働き過ぎを防ぎ、ワークライフバランスの実現を目指すため、国の政策として『働き方改革』が進められており、医師については来年4月からの施行に向けて各医療機関で準備が行われているところです。当院は循環器専門病院であるため、急性心症候群、心不全の急性増悪などの循環器科の緊急処置や大動脈解離や破裂などの心臓血管外科の緊急手術にも対応するため、休日の時間外労働がどうしても発生します。ただ当然昼間の通常診療時間にも予定治療が多く入っているため、夜間時間外労働した医師は時間外賃金を支給された上で昼間の診療にもつかなければならない状態です。

現在各医師の労働時間を調査中ですが、様々な労働時間短縮の試みを施行しても休日、時間外の労働時間の合計が年間960時間（月80時間）以内に収まる可能性は少なく、地域医療に貢献する医療機関に許可される年間1860時間の残業規制を取得できなければ、現状の輪番制の2次救急には対応出来ないと考えております。

現在すべての大学病院で960時間規制は困難であると見られており、そもそも医師数が十分でない地域の医療に、綺麗事として『改革』を導入しようとしても被害を受けるのは住民となり、今後の国の対応が注目されるところです。

この地域の他の病院がどのような体制でこの『改革』に臨むのか、まだ不明ですが、来年4月以降、この地域での循環器救急の体制が後退することがないように対応していきたいと考えております。

引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。

職員の紹介

 **野田 圭子** 看護副部長兼外来科長

自己紹介…趣味は御朱印集め。姉の家にいる犬を愛でることで心癒やされています。

看護師を目指したきっかけ…

幼少期に入院し、看護師に憧れたため


岡村記念病院の良いところ&悪いところ…

良いところ：心臓に特化している

悪い所：全て心臓中心に物事を考えるところ

開業医の先生方へメッセージ!…

良質の医療を目指し、看護師の立場から開業医の先生方と連携を深めていきたいです。ご協力をよろしくお願い致します。

 **鈴木さゆり** 科長 リハビリテーション科

自己紹介…再発・再入院予防のための疾患指導に力を入れ、楽しく働いています。

理学療法士を目指したきっかけ…

人の役に立つ仕事がしたいと思ったから

岡村記念病院の良いところ&悪いところ…

良いところ：スタッフ間で情報共有しやすいところ

悪い所：循環器以外のことが弱点

開業医の先生方へメッセージ!…

入院前のADL能力が維持出来るようにリハビリテーションを頑張っていきます。

心疾患リレーコラム② 【心血管スクリーニングの重要性】

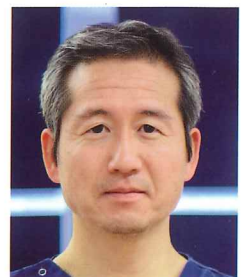
心血管疾患は、現代社会において深刻な問題となっています。

早期発見と適切なケアは、患者さんの生命と健康に大きな影響を与えることは言うまでもありません。

生活習慣病やその予備軍を早期発見し、介入することで、長期的に病気を予防、結果として医療

費を抑制することが期待されて開始となったメタボ健診があります。メタボ健診は、2008年から始まった全国規模の新たな保健事業で、正式名称は「特定健康診査・特定保健指導」と言います。その最大の特徴は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪が多く、糖尿病や高血圧などの生活習

循環器内科主任部長
保坂 文駿



慣病になりやすい状態のこと) にターゲットを絞った健診・指導を実施することです。2017年のデータでは、日本全国で約5400万人がメタボ健診の対象となっており、そのうち53%の約2900万人が実際に受診しています。

では、実際のところ、メタボ健診による健康増進効果はあるのか、そしてその結果として、医療費抑制効果はあるのか。

分析結果をまとめた福岡真悟・京大特定准教授は「メタボ健診は毎年約2800万人が受けているが、年間数百億円以上とされる経費に見合った効果が得られていない。」との見解を示しています。

つまり、特定健診(メタボ健診)で生活習慣の改善が必要とされた人に行う特定保健指導の効果は、1年後にわずかな肥満改善を認める程度で、心臓や血管の病気のリスク軽減につながっていないとする分析結果を、京都大などの研究チームが米国医師会雑誌電子版に発表しています。

したがって、当院では地域の皆様の健康維持に貢献するため、心血管スクリーニング外来を開設しています。

心血管スクリーニング外来では、低侵襲な最新の検査技術と診断手法を駆使し、心血管の健康状態を総合的に評価して個々の状態に応じた適切なアドバイスや治療プランを提供しています。

心血管スクリーニング外来の主な特徴は次の通りです。

1. 最新の検査技術と診断手法：当院では最新の検査技術と診断手法を駆使し、より正確な診断と効果的な治療を提供しています。

2. 個別化されたアドバイスと治療プラン：心血管スクリーニング検査結果に基づき、個々の状態に合わせたアドバイスや治療プランを提供いたします。

3. 心血管疾患は、急性・慢性疾患に大別され、特に急性心血管疾患の発症は命に関わります。

したがって、急性期発症前の不安定な状況なのか、急性発症する原因疾患があるのかを正確に早く発見することが最も重要ですので、これを見逃すことなく即座に正確に診断しています。慢性疾患が存在した場合には、介入治療は必要なのかなど正確な診断と重症度評価を短時間でかつ非侵襲的に行っています。

心血管疾患は予防可能です。早期発見と正確な診断により、深刻な合併症を回避し、生命の質を向上させることができます。地域の開業医の皆様におかれましても、地域の患者さんの健康を考え、心血管スクリーニング外来を積極的にご紹介いただければ幸いです。

ご不明な点や疑問がございましたら、いつでもお気軽に当院へご連絡ください。

地域の皆様の健康と幸福を共に願い、これからも地域に密着した医療を提供してまいります。



医療法人社団 宏和会

岡村記念病院

〒411-0904 静岡県駿東郡清水町柿田293番地の1
TEL 055-973-3221 (代) FAX 055-973-3404
TEL 055-973-3228 (地域連携室直通)